

飛散、吹き寄せを解消する米糠の形状

福島県農業試験場会津地域研究支場
平成16年度試験成績概要

1 部門名

水稲－水稲－雑草防除、作業技術
分類コード 01-01-20290000

2 担当者

新田靖晃・齋藤弘文・濱名健雄・松本 靖

3 要 旨

水稲の有機栽培において除草用に米糠が使われているが、散布の際の飛散や吹き寄せにより散布ムラが生じている。このため、飛散や吹き寄せを解消する形状について検討した。

- (1) 形状は、粉状(通常の形状)、細粒状、固形状の3種類について検討した。なお、細粒状は直播用コーティングマシンを用いて造粒し天日乾燥したもの。固形状は水で練り合わせ天日乾燥後に砕いたもの(おおよそ厚さ1cm、幅長さ1～5cm大)である。
- (2) 粉状は、風の影響により飛散、吹き寄せがみられた。飛散から散布作業も困難であった。
- (3) 細粒状は、形状から動噴散布が可能で、やや強めの風(散布時の最大風速4.2m/秒(毎正時))の散布でも、飛散がみられなかった。また、吹き寄せもみられなかった。
- (4) 固形状は、浮力(水面へ浮き上がり水尻に流れる)により吹き寄せがみられた。
- (5) 以上から、細粒状は散布ムラが無く、動噴散布が可能で作業性も高かった。また、その造粒方法は簡易であった。

4 その他の資料等

なし